

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：浜田一哉 編集責任者：野嶋 功 印刷所：東京印刷株式会社

次年度会長決定！

中本高夫次年度会長の横顔

プロフィール

Profile

誕生日／血液型 戸籍上は1960年4月2日、実は3月30日 O型
 家族構成 妻1人、子供3人、母1人
 趣味 仕事
 特技 コイショ！
 私の自慢 様々な草刈りは私にお任せ!!農家の息子です。
 今だからごめんさい 3年前のOB交流会で出席するといいなから、すっかり忘れていました。
 好きな言葉 鶏口となるも、牛後となるなけれ
 尊敬する人 ガンジー、キング牧師
 財産 愛する家族と、交友を持たせて頂いた方々



おいたち

Biography

1960年4月2日 いいえ、3月30日に自宅にて産婆さんのお世話で出産。140cmの母から一貫目(4000kg)で誕生。
 保育園 雨が降っても雪が降っても、休みの日でも登園していた。
 小学校 お山の大将
 中学校 3年生の進路を決めるある日、「おまえの内申点は無いぞ」といわれ、現実にかえった。
 高校 定期的に無制限の休暇を頂いておりました。
 大学 勉学に勤しむ。
 1994年12月 紆余曲折の数年を歩んだ後、会社設立。現在に至る。

2月例会報告

平成16年2月16日(月)、米子全日空ホテルにおいて2月例会が行なわれた。

浜田会長の挨拶のあと、委員長タイムでは、地域ビジョン委員会の多賀委員長より「夢ドリーム」を題材にした話があった。冗談まじりの前置きとは裏腹に、本題では『目先のことで動くのは良くないのではないか』『将来のことを夢描きながらやっていくのが正しいのではないか』と想いを話された。また、自らが経営される事業についても決意表明され、考えさせられる内容であった。



臨時総会では「平成16年度第30期会長推薦指名」について、浜田会長より中本高夫現副会長の推薦があり、異議なく盛大な拍手と共に承認可決された。その後、中本次年度会長より決意表明がなされ、中央会の発展を望まれる熱意がひしひしと伝わってきた(貫禄十分)。次年度「中本丸」の出航が楽しみであり期待できる決意表明であった。

皆生トライアスロン委嘱状授与式では、浜田会長より「ボランティア部」部長として島山会員「マラソン部」部長として増井会員にそれぞれ委嘱状が贈られた。両部長とも、トライアスロンへの熱い想いを決意表明された。今年はどんな感動を与えてくれるか今から楽しみである。

講演は、講師に鳥取大学医学部生命科学科学科長 押村光雄氏をお招きした。

「独立行政法人化に伴う産官学の連携について」という演題で、バイオと国立大学法人の関わり・バイオのもたらす経済効果について、スライド(ジョークも)をまじえながら説明があった。



【ポイント】

- ・一つの結果を新しい展開へ発展させることができるか積極的に探る
- ・自分の職業が何とドッキングさせたらよいか常に考える(例えば医学と水産資源)
- ・活性化するためには自己の利益の追求だけではなく共に生きるという精神を持つ

講演終了後に野嶋副会長の『近くに在りながら遠い存在だったが、身近に感じる事ができた』という謝辞の言葉が印象に残った。今回は新しいことへの希望を感じる例会であった。

(広報：小川昌史)

私の大切なもの ～アフター・ケア～

「あなたの大切なものは何ですか？」と尋ねられたとき、友人や家族と答える人は多いとおもいます。私も同様にそう答えるでしょう。しかしながら、今回は私が仕事の上で感じている大切なものについて書かせていただきます。

過日、当ホテルに宿泊いただいたことのある受験生の方から私宛の外線が入りました。「本日合格発表があるため会場で合否確認をしてきてもらえないか？」という依頼でした。その方は県外に住んでおり、米子に知り合いがひとりもないため、チェックインの際に会話した私しか頼る人がいないとのことでした。一応引き受けたのですが、いざ確認をしに行く際は「受験番号が無かったら何とお伝えしようか？」等々いろいろなことが頭をよぎりました。

そして、学生たちに紛れて掲示板まで行ってみると、ありました！その受験番号が。

自分のことのように嬉しく、すぐに電話をして合格を伝えました。その後、会社に戻り、デジカメで撮った掲示板の写真をプリントアウトしてファックスしてあげたところ、大変喜ばれ『一生大切にします。』というお言葉をいただきました。

私としてもこのような言葉をいただくことがこの仕事をしていて良かったとおもえる瞬間であり、人の喜びを大切にしていきたいと再認識させられる瞬間です。この瞬間がまさに私にとっての「大切なもの」であり、私のホテルマンとしての支えです。

【後記】

6月6日にオープンして8ヶ月余りが過ぎました。「人にあたたかい」ANAマインドを心に、お客様に満足いただけるホテルを目指し米子全日空ホテルは頑張っております。地域の皆様のご指導・励ましの言葉をいただければ幸いですのでよろしくお願いたします。

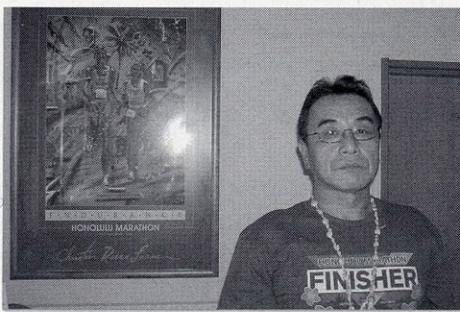
また、私も中央会に入会して3ヶ月。会員の皆様のご指導をいただき自己研鑽しておりますが、まだまだ至らない点が多いとおもいます。皆様のご指導・ご鞭撻が私にとっての「大切なもの」になりますので、重ねてよろしくお願いたします。

(経営：岩垣 樹)

遠藤会員、ホノルルマラソン見事完走！次なる目標は！？

03年 8月	マラソントレーニング開始		
9月	大山高原マラソン	5キロ	完走(28分27秒)
10月	隠岐マラソン	10キロ	完走(51分33秒)
11月	読売ハーフマラソン	21.0975キロ	見事完走!(1時間58分11秒)
12月	ホノルルマラソン	42.195キロ	見事完走!(4時間42分32秒)

05年 7月 そして行き着くところは・・・



昨年12月14日(日本時間15日)、ハワイ・ホノルルにて開催された「JAL ホノルルマラソン2003」において、見事に完走を果たされた遠藤会員のもとへ本誌スポーツ担当記者が取材に訪れた。

—完走おめでとうございます。さっそくですが、ホノルルマラソンでのエピソードをお教えてください。

出国後、不規則な食事や時差ぼけ・興奮による睡眠不足で体調を崩してしまい、ついには「気管支炎」と「中耳炎」を患ったまま大会を迎えることになってしまった。

号砲とともに打ち上げられた花火を見ながら、『とにかく行けるところまで行こう』と、タクシー代10\$をポケットの中に入れ走り始めたが、いざ走り出すと約25,000人のランナーに囲まれ、「気分は雑誌の中の世界！」どこかに“えらさ”というものを置き忘れてしまったね。(笑)

体調不良により「サブフォー」(フルマラソンを4時間以内に完走すること)を達成することができなかったが、ボランティアスタッフや沿道の方々の一生懸命な応援にも後押しされ、なんとか無事完走を果たすことができた。次回は必ず「サブフォー」を達成したいね。

—マラソンの魅力とは？

「達成感」だね。日ごろの厳しい練習を積み重ね、ひとつひとつ目標を達成していく。

仕事でも厳しく投げ出したときや弱音を吐きたいときがあるが、それを乗り越えようと努力する。マラソンと違ってここまでという区切りはないが、そこらは共通するところじゃないかな。

フルマラソンのゴールをした達成感に「やったー！」という感じでおもわず涙がでたね。

—フルマラソン完走という目標を達成したわけですが、次なる目標はトライアスロン皆生記念大会ということで・・・

えっ！そうだなあ・・・ あと、1年半しかないじゃないか！(笑)

取材中、拝見したビルドアップされた体は、健康フェチを通り過ぎ、まさしくアスリートの肉体でした。

生活習慣病克服のために始めたダイエットに成功し、たった4ヶ月半でフルマラソン完走。そして平成3年に会社を設立されてから努力を積み重ね、13年目にしてひとつの目標である新社屋を現在建設されています。

何事にも妥協しないその姿勢に大変感銘を受けました。冗談ではなく、本当に数年後には“トライアスロン出場&完走”されるかもしれません。期待しています！！

(広報：福庭貴志)

2月度各委員会報告書

情報メディア委員会

平成16年2月6日(金) 於：日本海情報ビジネス専門学校 出席者/9名
内容/内部講師講演

講師：小林孝俊会員

演題：ホームページ運用について

『当初はひと月に1回の更新しかしていなかったため、アクセス数が少なかった。そこで、静止画だけではなく動画を取り入れてみたり、取扱商品だけではなく境港の名所などの情報も入れてみたりした。それによって検索項目が増え、アクセス数も増えた。また、オークションへの出品やホームページ利用のユーザー宛てのメルマガを充実させた。更新は週1回にし、その日とれた魚の写真や食べ方・料理方法などを載せるようにした。つまり、ホームページを多くのユーザーに見てもらうには、①いかに多くの検索にヒットさせるか、②ホームページに常に新しい情報を載せること、が大切である。加えて、とれたてのものをすぐにメールで知らせるなどリピーターのためのサービスも重要と考えている。』とのことであった。

政治行政委員会

平成16年2月6日(金) 於：ホールサムインかいけ 出席者/12名
内容/3月担当例会打ち合わせ

例会当日タイムスケジュールの確認と担当割りを行った。詳細は次月委員会で詰める。

国際交流委員会

平成16年2月5日(木) 於：ホールサムインかいけ 出席者/11名
内容/1月担当例会反省等

1月担当例会の反省ということで全出席者に意見を求めた。

「全員出席が出来なくとも残念」「弁当が20ヶ程余った」「ターバンを着けたことが良かった」「席を1席ずつ空けてゆったりと座れた」「公共施設を使用することで会場費が半分程度になった」等々。

最後に、委員長が「副委員長の時とは違った立場で経験して、自分自身が1番勉強になった」と総評した。

経営委員会

平成16年2月9日(月) 於：ホールサムインかいけ 出席者/14名
内容/内部講師講演

講師：足立豊会員

演題：金融機関から見た「危ない会社」

1. 金融機関の決算の仕組み
2. 危ない会社の状況とは
3. 危ない会社の兆候
 - ①経営者が会社の内容を理解していない
 - ②既存の仕組みを変えることが出来ない
 - ③実質的な経営者がいない
 - ④実質的な経営責任者が複数社内に存在し方向性が異なる

地域ビジョン委員会

平成16年2月13日(金) 於：おーゆ・ランド 出席者/13名
内容/外部講師講演

講師：坂内和孝(ばんない・かずたか)氏

(皆生温泉観光株式会社 代表取締役社長)

演題：皆生の観光について

まずは参加者全員で皆生を歩いてから講演に入った。

講師先生の会社は温泉の配湯会社であるので「源泉開発」「供給の歴史」をお聞きした。

故・有本松太郎氏が源泉開発し、源泉供給を開始。同時に市街地開発と交通網を整備したのが皆生温泉のスタート。その後、日本の高度成長期に社員旅行などの団体旅行を受け入れるため、ホテルは大型化。風俗店などの歓楽街と共栄共存してきたが、バブル崩壊後は個人旅行に移行。皆生は乗り遅れ、ソープだけが残った。

皆生を歩いてみた感想を講師より求められ、「夜、女性が歩けない」「温泉をやめて住宅地にしたほうがよい」「地元の人を相手にしていない」「カニの取れない季節にも出す必要があるのか」など多数の意見が出たため、予定の時間を大幅にオーバーし終了した。次回も皆生温泉をテーマに話を聞く。

広報委員会

平成16年2月6日(金) 於：米子ニューアーバンホテル 出席者/8名
内容/ハンサム3月号編集、スキルアップ道場「デジカメ編」

ハンサム3月号編集のほかに、「広報紙等の写真撮影の際、角度・距離等に個々の悪癖がでるのではないか?」という観点から、第22期御卒会角田茂樹OBを講師にお迎えし、デジカメによる写真撮影の技術講習が行われた。

ほとんどの会員が写真については素人ではあるのだが、自分なりに如何にいい写真を撮ろうと工夫しているのかわかった。講習は終始和やかな雰囲気の中行われたが、角田OBのプロカメラマンとしての一面がスパイスとなった貴重なひと時であった。

総務委員会

平成16年2月6日(金) 於：ホテルサンルート米子 出席者/11名
内容/青経連・4月担当例会打ち合わせ

1. 4月レクリエーション例会について

4月18日開催予定。場所未定。競技内容等は協議中。

2. 青経連経営研修会打ち合わせ

当日の講師誘導等の運営確認と備品チェック等を行った。また、各担当も決めた。

30周年記念事業委員会

平成16年2月9日(月) 於：米子食品会館 出席者/7名
内容/30周年記念事業企画打ち合わせ等

1. チャリティーコンペ企画(案)

4月25日(日)にグリーンパーク大山GCにて開催される「記念チャリティゴルフ大会」の概要について提案が出された。

2. メーリングリストの検討

『実行委員の大方のメンバーがメールアドレスを持っているので実行委員会でメーリングリストを使ってはどうか』という管理部からの提案について意見が交わされ、まずは部会ごとのメーリングリストを作成して運用してみてもどうかという意見に集約された。

3. 各セクションの状況報告

運営部、制作部に部会が行われ進捗状況が報告された。残りの部については後日部会が開催予定。

4. その他

30周年のイメージソングをTSCバンドにて作成してもらってはどうかという案が出された。

30周年記念事業実行委員会 進捗状況報告

2月23日(月)、米子食品会館にて第2回30周年記念事業実行委員会が開催された。各部の進捗状況は以下の通り。

運営部：式典会場候補ならびにパーティー会場候補を視察済み。集客予定人数によってより具体的に絞っていく。

提言部：30周年記念事業メインタイトル「自律」に続くサブタイトルを検討中。提言書についてはアンケートを実施し、それを叩き台にする。

制作部：記念誌・記念誌巻末CD・式典用ビデオの作成を検討中。記念誌は目次決め終了。CDは過去の関連資料等収集中。式典用ビデオについては原案練り直し。

広報部：PR用の名刺・横断幕の作成、進捗状況伝達用のかわら版の作成、CATVを使ったメディアアピールを検討中。

管理部：チャリティーゴルフコンペならびに懇親会場の原案を提示済み。予算編成については、現状でグロスの要求額がオーバーしているため別個に見直しをお願いし緊縮財政に努める。

(広報：福庭貴志)

伝心伝承

当コーナーでは会長、県会長経験者の方々に「中央海」という大海原での羅針盤たる助言・苦言をいただきます。7回目は第25期会長堀田 収OBです。



一御社の社是の中に「友愛」の文字があるようですが

先代のときに掲げたものとおもう。会も会社も一人一人の信頼が大事。中央会の綱領にも「友愛」という言葉が入っているので、何か求めるものと同じ部分があるのかもしれない。会の方針と会社の方針で同じ部分があることはよいことではないだろうか。

一中央会活動で1番思い出に残っている事をお聞かせ下さい

色々な活動の中で特に旅行に行ったときが楽しかった。全国大会では他団体との交流を通して様々な意見・活動内容を聞くことができ、大変ためになり強く印象に残っている。

一30周年を迎えることにお聞かせ下さい

30周年というのは大きな節目になる。中央会設立当時とは社会情勢も違うので、色々な面で見直すよい機会だとおもう。その節目を大切にしながらより未来に目を向け、大いなる変革を目指し今後の活動も更にがんばってもらいたい。

一今後の会のあり方について、どうおもわれますか

会員それぞれの企業の発展は重要なことだとおもう。そのためにも会の活動内容を濃いものにしてもらいたい。会全体に目をやり時代の流れに応じて変えるべきところは変えていき、守るべきところはしっかり守るという姿勢が大切であり、方向性についても絞り込んでいく必要があるとおもう。

一我々のような新入会員に一言アドバイスをいただけませんか

各自がしっかりと自己表現・自己主張を持つことが大切である。会の活動に積極的に参加していき、個人・企業の発展に十分役立ててほしい。その上でとにかく楽しんでもらえればよいとおもう。がんばって下さい！

【取材後の感想】

ご自身がスポーツマンということもあり、さわやかな雰囲気を持っておられる素晴らしい方でした。社員の皆様の対応も目を見張るものがあり、これも堀田OBのお人柄によるものと感じました。誠に勝手ながら目標とさせていただきます。また、夜の堀田OBも非常に楽しい方だと聞いております。是非またの機会に御一緒できればと願っております。お忙しい中、取材に答えていただきありがとうございます。

(広報：須山裕文)

言わしてごしない 其の八

～大学サッカークラブ日本一～

昨年12月13日(土)関西大学高槻グラウンドにて、大学サッカークラブ日本一を決定する「東西対抗戦」が行われた。関東代表は、筆者が初代副幹事長を務めた新関東フットボールリーグ1部優勝の「早稲田大学人間科学部サッカー部HUMAN FC」。対する関西代表は、サッカー好きのお笑いタレント清水圭をOBに持つ、関西学生サッカークラブリーグ1部優勝の「同志社大学サッカー同好会三ツ葉キッカーズ」。試合は1-0でHUMANが勝ち、2003年度の日本一になった。もちろん筆者も応援に駆けつけ、当日集まった50数名の現役・OBと共にその栄誉に酔いしれた。

創部当時は11人揃うことさえ困難な状況だったものの、練習試合では常に無敗を誇った。下級生の入学により人数の不安が解消され、新関東リーグに加入、当時は4部に所属した。加入初年度に全勝優勝したものの、4部のチームが規定数に満たない理由から3部との入替え戦は実現せず、翌年に再度全勝優勝し、2年越しようやく3部に昇格した。

創部から10年の歳月が経過し、一昨年のリーグ戦で2部優勝、入替え戦にも勝って念願の1部リーグに昇格。そして1部での初シーズンとなった昨年、5勝0敗2引き分けの無配でリーグ制覇(関西リーグ所属チーム数14に対し、新関東は実に52チーム!)、東西対抗戦も制して日本一の栄冠に輝いた。我々創部メンバーには夢でしかなかった「新関東1部優勝+日本一」を、後に続いた後輩達が実現してくれたのだ。

当中央会は来年度で30周年を迎える。創立当初から尽力された諸先輩方の想いは、その後の後輩達に脈々と受け継がれているだろうか? 大学の後輩達の偉業達成を目の当たりにし、「30周年の重み」をあらためて考えさせられた1日だった。

(※『週刊サッカーダイジェスト』1月27日号51P全面に写真入りの記事が掲載されており、筆者も誇らしげに写っています)

(広報：尼子 健)

香糞はスーパーマンである!

2年半前に父親の会社の後継者として米子に戻ってまいりました。それまでは都会で食品のメーカーセールスを7年半していたのですが、年に1度の個人面接のたびに『中国へ行きたい』と言い、上司からは『お前結婚どうするんだ!』と本気で心配されましたが、急に米子に戻ることになり運命のようなものを感じました。

戻ってきて1年目はそれなりに順調だった会社の業績が、2年目に大きく悪化する結果となりました。私どもの規模の会社が立ち行かなくなるのは本当にあつという間のことだとおもい知らされました。厳しい状況になると、いかに利益を出すことが大切なことなのかよくわかります。今はとにかく、従業員・業者・地域の皆様に貢献できる企業になるため、目いっぱいの日々を過ごしています。

(木)

所属企業変更のお知らせ

松本英樹会員(地域ビジョン委員会)

【変更前】境港魚市場株式会社

【変更後】有限会社島谷商店

〒684-0034 境港市昭和町無番地

TEL:0859-42-3737 FAX:0859-44-6593

生鮮仲買・水産物加工業 販売促進室室長

自宅住所変更

釜田公文会員(国際交流)

新住所:〒683-0103 米子市富益町5-38

電話:0859-30-0875 (旧番号から変更)

2月23日(月)に新築・引越されました。新生活での御多幸をお祈りします。

3月例会案内

と き：平成16年3月15日(月) 18時30分～

と ころ：米子全日空ホテル

講 師：片山弘子(かたやま・ひろこ)氏(鳥取県知事夫人)

演 題：未来の子供のために ～環境・教育・観光～

3月役員会報告

2月定例役員会が平成16年3月1日(月)、食品会館において開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- (1) 3月例会、4月例会開催の件
- (2) 次年度副会長指名推薦の件
- (3) トライアスロンボランティアの件
- (4) 30周年記念事業の件
- (5) その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。